

（株）飯田鉄工 フィリピンの災害廃棄物の迅速処理を目指す 伊予銀行連携案件として現地の災害復旧能力を強化

国際協力機構（JICA）は3月31日、「中小企業・SDGs ビジネス支援事業 基礎調査（中小企業支援型）」において株式会社飯田鉄工（高知県高知市、飯田隆雅代表取締役）が提案する「フィリピン国気候変動に伴う災害多発化に対する被災時インフラ復旧能力強化に関する基礎調査」を採択しました。

本調査の対象国であるフィリピンでは、台風、洪水、土砂災害、地震、津波、火山活動などの自然災害に伴う被害が頻発し、世界で最も自然災害に見舞われる国の一つとなっています。

提案企業である株式会社飯田鉄工は、建設機械であるショベルカーの先端に取り付けるアタッチメントの製造開発を行っており、全国各地の建設会社、産業廃棄物業者に製品を納入しています。様々な機能を備えた同社の豊富なアタッチメントは近年では熊本地震や広島豪雨災害等の被災地の復興段階での廃棄物処理にも活躍の場を拓けています。



掴み機・切断機の使用例

フィリピン台風22号の被害

本調査は同社が提案する掴み機や切断機などの機械アタッチメントの活用により、フィリピンでの災害廃棄物の迅速な回収と処理に活かし、早期の救援経路の確保やインフラ復旧に貢献できるビジネスの実現を目指し、現地調査やニーズの確認を通して、同社の現地ビジネス計画を策定するための調査です。

本事業は、「基礎調査（中小企業支援型）」として実施されます。「基礎調査」は、優れた製品や技術力を有する中小企業が途上国に進出することによる開発課題解決の可能性及びODA事業との連携可能性を検討するためのもので、検討に必要な基礎情報の収集と海外展開事業計画の策定を目的としています。2021年度第2回は2021年12月に公示を行い、7件が採択されました。今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考：（プレスリリース）基礎調査 2021年度第二回公示の採択結果について

URL：https://www.jica.go.jp/chotatsu/sme_fs/2021/ku57pq00002n9702-att/211201_result_01.pdf

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 四国 業務課 山内、高野、山本
TEL 087-821-8834 e-mail：Yamauchi.Katsura@jica.go.jp
Kono.Shota@jica.go.jp
Yamamoto.Rie@jica.go.jp